

震災復興シンポジウム

震災から6年を迎えた津波被災地における

復興の現状と課題

東日本大震災から6年が経過し、被災地では集団移転や災害公営住宅の事業、商店街や工業団地の整備などの生活や生業の再建に関わる事業が着実に進行しています。本シンポジウムでは、岩手・宮城・福島の津波被災地を対象として、生活・地域コミュニティの再建、産業・生業の再建、原発災害からの再建、津波伝承と震災以降の視点から現状と課題をとらえるとともに、今後の展望について議論していきます。

日時

平成29年3月5日(日) 13:00～17:00

場所

エルパーク仙台 セミナーホール1・2

(仙台青葉区一番町4丁目11番1号 141ビル5階 / 仙台三越定禅寺通り館)

〈プログラム〉

13:00～13:10 趣旨説明 / 広田純一氏(岩手大学)

13:10～15:10 話題提供

「コミュニティ単位の集団の移転を進めた岩沼市における復興」

井口経明氏(元岩沼市長)

「東松島市の復興まちづくり～移転元地の土地利用～」

小林典明氏(東松島市復興政策部長)

「3がつ11にちをわすれないためにセンターによる草アーカイブの試み」

北野央氏(せんだいメディアテーク企画・活動支援室)

「(仮)釜石市根浜海岸の再生と地域創生の取り組み」

岩崎昭子氏(釜石市根浜地区宝来館女将)

討論

「東日本大震災をどう伝え経験を活かしていくか、次なる自然災害に備えて」

コーディネーター：広田純一氏

15:10～15:40 休憩・ポスターセッション

15:40～16:50 鼎談：持続と連携に基づいた計画研究のあり方

コーディネーター：広田純一氏(岩手大学)・鈴木孝男氏(宮城大学)

パネリスト：講師+農村計画学会震災復興研究グループメンバー

(1) コミュニティ再建

(2) 生業再建

総括

山崎寿一氏(神戸大学)

16:50～17:00 閉会 / 三橋伸夫氏(宇都宮大学)

●参加申込：【ご氏名・ご所属】を明記の上、電子メール(suzutaka@myu.ac.jp)でお申し込みください。